

読谷村座喜味「座喜味地区」

集落
部門

座喜味城と花で迎えるふるさとづくり (平成17年度認定)



世界遺産に登録された座喜味城跡の南面の緩やかな丘陵地に位置する座喜味区は、自然景観に恵まれた歴史的佇まいのある集落である。

座喜味区による集落環境づくりの取り組みは、1964年頃、区の女性メンバーが集落の空き地に花壇づくりを実践したのが始まりで、次第に男性も参加するようになり、個人、同年生、隣組グループへと活動の輪が地域ぐるみへ発展してきた。

現在は、「ヌチ花のザチミ」と称して四季折々の草花が咲き誇る花壇が21か所に設置され、集落を訪れる人々を気持ちよく迎えている。

また、環境美化はゴミを少なくすることも大切と、空き缶拾いや集落の清掃など、区の女性たちが「座喜味環境を守る婦人の会」として中心となり、青年会、子供育成会、伝統芸能保存会など区民一丸となった環境美化活動が行われている。

また、定期的に直売市を開催し地域の農産物を供給したり、地域開催のイベントでは地域の農産物を加工して提供している。

地域では今後、サワフジや椿に囲まれた散策道づくりに取り組むこととしており、「座喜味城と花で迎えるふるさとづくり」を推進している。

